



下北教育事務所
QRコード

社会教育だより「かけ橋」はバックナンバーも含めて下北教育事務所のホームページでご覧になれます。

報告

生涯学習・社会教育関係職員研修講座下北地区研修

～9月26日(火)むつ合同庁舎～

下北管内市町村の生涯学習・社会教育担当者及び関係者が担当者としての職務の専門性を高め、下北管内の社会教育の発展に資することを趣旨に開催されました。若者に関する事業にスポットをあて、具体的な事例を踏まえて話されたり問題提起をしたりと大変貴重な講義となりました。



講義：「事業の企画力の向上」

講師：弘前大学教育学部

准教授 越村 康英 氏

【講師から】

☆若者の興味・関心や課題に応える社会教育事業をつくるための5つの提案

- 1 地域の若者に向けて、積極的なアプローチ
- 2 腰を据えて、ねばり強く「若者事業」を継続
- 3 若者が抱える切実な課題に応える社会教育事業を
- 4 若者のやってみいたいことにこだわる
- 5 「若者の参画」を基本とした「社会教育事業づくり」と「社会教育事業計画の策定」を

【参加者の声】

事例をそのまま同じように事業展開しても、同じような成果は得られない。事業はそれぞれの地域にあり、それぞれで見つけていくしかない。

- ・講義のテーマに沿って大変わかりやすい内容でした。「準備会」「企画会」の重要性について考えさせられました。
- ・「こういうことを聞いたかった」という講義でした。
- ・講義を聞きながら思いついたアイデアがあったので、実現に向けて動きたいと思う。

令和5年度 下北地区社会教育研究会 佐井大会

～10月2日(月)津軽海峡文化館「アルサス」～



下北地区社会教育委員並びに社会教育関係者が佐井村津軽海峡文化館「アルサス」に集まり、下北地区社会教育研究会が開催されました。同村出身で、青年海外協力隊員として御活躍されている「工藤 彩氏」を講師に研修会を行いました。

講義：「アフリカの子どもたちと教育

～青年海外協力隊としてできたこと～

講師：佐井村社会教育委員

青年海外協力隊OV・幼児教育隊 工藤 彩 氏

【講師から】

☆青年海外協力隊員になったきっかけ

○中学校での修学旅行の自主研修で青年海外協力隊OBとの出会い、その方のお話を聞いて憧れた。

☆青年海外協力隊になるまでのプロセス

- 応募 → 書類審査
- 面接 → 職種別(行政や工業等)※2つの審査を通れば合格
- 訓練 → 70日間、200名と共同生活
※安全面、健康面、語学などの学習
- 派遣 → 幼稚園教育の支援

☆ブルキナファソでの活動

- コミュニケーションを取ることに苦労したが、
- 先生たちへのアドバイス、協働
- 運動遊びや絵本の読みきかせの導入
- 遊びを通じた教育の導入
- ※ベルギーのNGO団体とコラボして寸劇や伝統芸能を披露する場の計画

☆カメルーンでの活動

- 上記に加え、
- 月毎にテーマを決め、学習の様子を発信
- ※マンガ、アニメを活用した日本語教室を開催(毎週土曜日)

☆発展途上国の子どもと社会教育

- 貧困、紛争等により幼稚園に通えない子がいる。そのような子どもたちにとって社会教育は大切な存在なのではないか
- 誰でも参加でき、活動でき、学びができ、食事ができる教育の場を増やしていきたい

北の防人大湊ジュニアガイド 発表会

～10月5日(木)水源池公園～

前号でお知らせした大湊小学校の6年生が行った「北の防人大湊ジュニアガイド」の活動の様子を紹介します。

天候が心配でしたが、無事に開催することができました。開催前に雨が止み、終了すると雨が降り始める状況でした。まるで、子どもたちの頑張りを応援しているかのようでした。

半年間の学習の成果をしっかりと参加者に伝えることができ、素晴らしい発表会でした。



乙水槽の扉を開け、内部の様子を確認できました。



ガイドを終え、参加者から褒めの感想をいただきました。

令和5年度生涯スポーツ優良団体表彰

むつ地区ボート協会が受賞

むつ地区ボート協会(会長：川向 信義)

10月13日(金)に東京都千代田区にある「中央合同庁舎第7号館3階講堂」において、「令和5年度生涯スポーツ功労者及び生涯スポーツ優良団体表彰式」が行われ、むつ地区ボート協会の川向信義会長と佐々木孝理事長のお二人が御出席されました。

むつ地区ボート協会は、1967年に設立後、長きにわたりむつ地区のみならず青森県のボート競技の発展や地域貢献に、御尽力してきたことが評価されました。

地域の方々が御存知の「まさかりレガッタ」を主催したり、今年2月には、「まさかりエルゴ」を企画し開催したりして、誰もが「ボート」に親しむことができるよう取り組まれている団体です。

